

月刊 小林のぶゆき

第7号
2011年9月発行号

見える
わかる
変わる
今こそ横須賀を
私たちのものに

横須賀市議会議員 小林伸行の議会活動報告

無所属36歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索
住所 〒239-0841 野比2-13-18
☎ 070-6640-3927
FAX 046-801-2177
✉ info@kobayashinobuyuki.com ↑
Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。妻と息子の3人家族。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年より横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事務局長など市民活動にも関わる

第一特集 ヨコスカ給食白書③

市長、中学校給食どうでしょう?

吉田市長の、中学校給食へのスタンスはどうかの。

第二特集

中学校給食YesかNoか

アンケートと署名を実施中! あなたは、どっち?

ヨコスカ給食白書③

第一特集

市長、中学校給食どうでしょう?

吉田市長の、中学校給食へのスタンスはどうかの。一般質問

「中学校給食」問題のその後

中学校給食がない横須賀市。でもお隣の三浦市では100%、全国でも81.6%が導入。相模原市が導入中で、逗子市も導入を検討中。しかし横須賀市の「学校給食検討委員会」は中学校給食について一切何も検討していない……。こんな中学校給食をめぐる現状を、私は「ヨコスカ給食白書②中学校編」として、選挙前にみなさんにお伝えしてきました。

その後、新しい動きもあります。ワースト1位の大阪府では橋下知事が「5年間で246億円を市町村に補助する」方針を打ち出し、7.7%から60%程度まで跳ね上がる見込みで、とうとうワースト2位の神奈川県が堂々の第1位に躍り出ます(苦笑)。こうした中「どうやら横浜市も検討を始めたようだ」と文部科学省の担当者に教えてもらいました。

「いよいよ、横須賀市も導入を真剣に考えるときじゃないか」と思うんですが、みなさんはどう思いますか?

中学校給食にはいくらかかるのか?

でも、財源の裏づけもないのに導入を叫んでも無責任だと思ふんです。だからこそ、私は当選後の初登庁日、真っ先に学校保健課に行き「中学校給食にはいくら必要なのか?」試算をお願いしてきました。8/1にその結果を頂き、それによれば

運営経費: 約4.5億円* 初期費用: 約2.5億円

前回試算では 約5.3億円 約1.4億円

ですから、運営経費は前回の私のザックリ試算よりも少ない費用で導入できることがわかりました。そしてこれは「4.5億円あれば、中学校給食は実現できる」ということを意味します。

吉田雄人市長の考えは?

この数字を元に、9/1の市議会本会議で吉田市長の考えを

地域	割合
全国	81.6%
千葉県	100.0%
富山県	100.0%
愛知県	100.0%
東京都	96.0%
神奈川県	16.1%
大阪府	7.7%
三浦市	100.0%
横須賀市	0.0%
鎌倉市	0.0%
横浜市	0.0%
逗子市	0.0%
葉山町	0.0%

聞きだしました。

小林: 中学校の完全給食は、優先順位の高い施策だと思ふ。もっと優先順位の低い事業(裏面参照)を見直して4.5億円をひねり出し、中学校給食を導入してはどうか?

市長: 現在実施中の事業がベスト。中学校給食は考えてない。つまり、吉田市長は「中学校給食は、今の事業より優先順位が低い」と言ってるわけです。市は年間、芸術劇場に4.2億円、美術館に3.5億円、ソレイユの丘に4億円をつぎ込んでいますが、市長は中学校給食よりも、これらハコモノのほうが大事だと考えているわけです。そこで、さらに市長に聞きました。

小林: 中学校給食に対する市民のニーズは高いと思ふ。お隣の逗子市のように、まずアンケートだけでもとってはどうか?

市長: 現在の方式で十分なので、アンケートは考えてない。

小林: なぜ必要ないと思ふのか? 費用の問題か?

市長: 現在の弁当注文やパン注文の利用率は1割程度。これを給食のニーズと考えられるので、アンケートの予定はない。

この回答に私は驚いたのですが、弁当・パン注文と給食は違えますよね? 弁当・パン注文では栄養バランスが心配だから頑張ってお弁当を作っているわけで、「ちゃんと栄養士がついた給食だったら利用したい」という方もいるのでは?

しかも何故そこまでかたくなにアンケートを拒否するのか? その理由が見えてきました。大野忠之議員が、教育福祉常任委員会で「弁当注文は1割だが、アンケートの結果は別かも。アンケート実施しては?」と質問して下さったのですが、学校保健課長は「アンケートをとった場合『給食があるのにこしたことはない』という結果が出ると思ふ」と答えていました。市長と課長の答弁が微妙に食い違ってますが、あえて問題視しません。問題はここから見えてきたことです。<裏面に続く>



イラスト提供 わんぱく http://k.fis.wanpaku.com/

* 相模原市と同様のボックスランチ形式の給食を導入した場合の費用概算。

第二特集 中学校給食、YesかNoか？

アンケートと署名を実施中！

あなたは、どっち？



行政のホンネが見えてきた。

こうした市長や学校保健課長とのやりとりから見てくるのは「アンケートをとると、『給食やってほしい』という声が大きくて無視できなくなる。そうすると導入しなければいけないので、パンドラの箱は開けたくない」という行政のホンネです。そこで私は今回、直接市民のみなさんにアンケートと署名をお願いすることにしました。

ところで、4.5億円は本当に用意できるの？

その前に「4.5億円なんて本当に用意できるの？」という疑問に答えておきたいと思います。今回、9月議会一般質問で私は下の表の4事業を見直すことを提案しました。



アンケートと署名にご協力ください。

本当にニーズは高いのか、私が突っ走っているだけなのか、みなさんに教えてほしいんです。横須賀市の未来を考えたとき、中学校給食は必要か？ 必要じゃないのか？

ぜひ、下記のアンケートに答えてご返送ください。そして、もし導入賛成なら署名にもご協力ください。

※なお、私が提案している給食方式は、お弁当持参も可の併用制で、民間委託のボックスランチ形式です

中学校給食の導入についてのアンケート

私は、横須賀市で市立中学校の完全給食を導入することに賛成します 反対します ※○で囲んで下さい

(よろしければ、その理由もご記入ください)

中学校給食の導入を求める署名

11/11
必切

横須賀市長 吉田雄人殿

私たちは、横須賀市の市立中学校において、完全給食を導入することを求めます。

氏名	住所
	横須賀市

取扱団体：中学校給食導入を求める横須賀市民の会

〒239-0841 横須賀市野比 2-13-18 小林のぶゆき事務所気付

※ご記入頂いた氏名や住所など個人情報、この署名以外では利用しません。

アンケート・署名の送付先 Fax 046-801-2177

郵送やE-mailにて、同様の内容をお送りいただいても結構です。



見直すべき事業名	削減幅
1)中央斎場の市民無料火葬事業	1.9億円
2)横須賀芸術劇場の芸術普及事業	1.5億円
3)住宅用太陽光発電システム設置費補助制度	0.1億円
4)一般電気事業者からの電力調達	1億円～
削減可能額 計4.5億円～	

中学校給食に必要な予算 約4.5億円

(1)「中央斎場の市民無料火葬事業」は、お隣の鎌倉逗子葉山では民間業者が4～5万円で火葬サービスを提供しているので、横須賀市の市営火葬場でも4.5万円に有料化しようという案です。(2)「横須賀芸術劇場の芸術普及事業」は、自主公演のチケット売れ残りが赤字を生んでいるので、貸館(ハコ貸)に特化しようという案です。(3)太陽光発電補助制度は、補助金ではなく、市民出資型の事業に転換しようという案です。(4)電力調達は、東京電力から随意契約で電気を買うのをやめて、一般競争入札で買おうという案です。他にももっと見直すべき事業もあるかもしれませんが、ひとまずこれで4.5億円。

編集後記

現在、小学校給食の放射能調査を準備しています。市は、食材4品目のサンプリング調査を7月に1回やっただけで、あとは「市場に出回っているものは安全」という国の大本営発表をうのみにしています。でも、国も大雑把な調査だけで実際には安全性を確保できる体制じゃないことは、報道のとおりです。

そこで、給食を毎食、自分の政務調査費で民間検査機関に測定依頼する計画なのですが、市から給食の提供が得られません。子供たちの健康のため皆様も市に声を届けて下さい。

正直に言えば、3.11の原発事故を受けて「もう中学校給食はムリかな」と思いました。というのも、「食品の放射能が不安で、学校給食を食べさせたくない」という親御さんが増えていたからです。でもよく考えてみると、給食だったら1食測れば生徒みんなの昼食が安心かどうか確かめられるわけです。むしろ家庭より安心保証がつけられる。東北の避難所では給食設備が大変役に立った所もあると聞きます。やっぱり給食やりたいです。



応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

見える 誰が何をどう決めてるのかわかんない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる 難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

E-mail: info@kobayashinobuyuki.com Fax: 046-801-2177

